

## ■震災遺構（大川小学校旧校舎）検討会議（第 1 回）

## ○「震災遺構（大川小学校旧校舎）整備計画」の枠組み（案）

## 1 目的

## (1) 大川小学校旧校舎における東日本大震災の伝承の意義

- ・大川小学校旧校舎は、震災伝承のための防災教育や慰霊・追悼を行う重要な場所です。

- ①東日本大震災の教訓を後世に語り継ぎ、防災・減災につなげることができる防災教育の場
- ②多くの犠牲者を悼む慰霊と鎮魂の場

## (2) 石巻市における大川小学校旧校舎の整備方針

- ・大川小学校旧校舎は、河口から上流 5km における大きな津波被害を経験した施設であり、防災教育や慰霊・追悼を行う重要な場所です。
- ・以上のことから、校舎は、全体を保存することとし、周辺については、慰霊・追悼の場としての環境整備を行います。

- ①防災・減災に繋げることでできる「防災教育の場」として保存するとともに、震災の教訓を後世に語り継ぐため、語り部等との連携を図ります。
- ②校舎の保存手法は、校舎には手を加えず、事故防止のための安全対策（柵など）を行います。
- ③慰霊・追悼の場としての環境整備や旧校舎保存のあり方については、地域住民との協議を続け、その内容を決定します。

## 2 整備計画の主要検討事項

## (1) 校舎・周辺環境の整備について

- ①校舎
  - ・全体を保存する。
- ②周辺環境
  - i) 校舎に対する配慮事項（周辺環境整備の条件、周辺環境に求められる役割・機能）
    - ・校舎を隠す、憩いを与える、緑を豊富にする、慰霊碑の場所を検討する、など
  - ii) 配慮事項を踏まえた周辺環境整備方法
    - ・どこに何を配置するか、ゾーニングをどうするか、など

## (2) 校舎・周辺環境の利活用について

- ①校舎の利活用
- ②周辺環境の利活用

## (3) 校舎・周辺環境の運営・維持管理について

- ①校舎・周辺環境の運営
- ②校舎・周辺環境の維持管理